



栃木県公共事業再評価 概要書

【県土整備部 砂防事業】

事業名	砂防施設づくり事業
事業箇所	<small>あらかしきさんごうさわ</small> 新屋敷三号沢 砂防堰堤 2 基 <small>おおぎす</small> 那須烏山市 大木須地先
事業主体	栃木県
事業担当課	県土整備部 砂防水資源課

I 事業の概要

【目的】

砂防事業新屋敷三号沢は、那須烏山市大木須地先に位置する流域面積0.07km²の荒廃した溪流である。

本事業箇所の被害想定区域には、人家7戸、県道牧野大沢線、大木須下集会所がある。

溪流内には不安定な土砂が堆積し、豪雨等により下流に流出するおそれがあることから、砂防堰堤を整備し、流出土砂の抑止を図ることを目的としている。

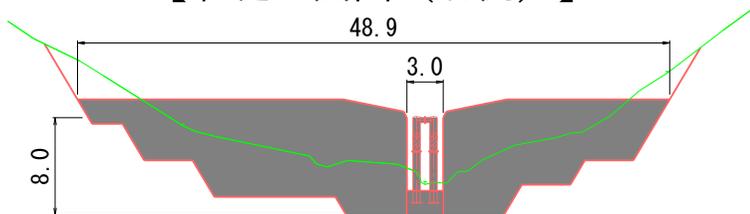
【現況】

目標事業期間 (変更前)	令和3年度～令和8年度 (令和3年度～令和7年度)
事業経過	令和3年度 事業化 令和4年度 用地着手 令和5年度 工事着手
全体事業費 [うち用地補償費]	3.9 (3.0) 億円 [0.2 (0.2) 億円] ※ () は前回計画時
事業内容 [うち整備済]	砂防堰堤2基 [砂防堰堤1基]
進捗率	基準年次：【令和7年度末時点】 費用 進捗率 既投資事業費 2.5億円 64% [うち用地補償費 0.2億円 100%]

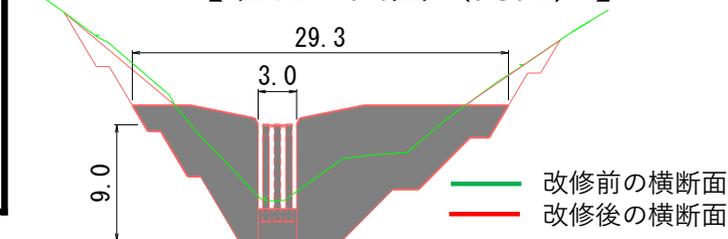
【事業概要図】



【堰堤正面図（北側）】



【堰堤正面図（南側）】



事業の概要

【箇所の概要】



事業位置

那須烏山市

新屋敷三号沢
那須烏山市大木須
R3~R8 (予定)
砂防堰堤 2基

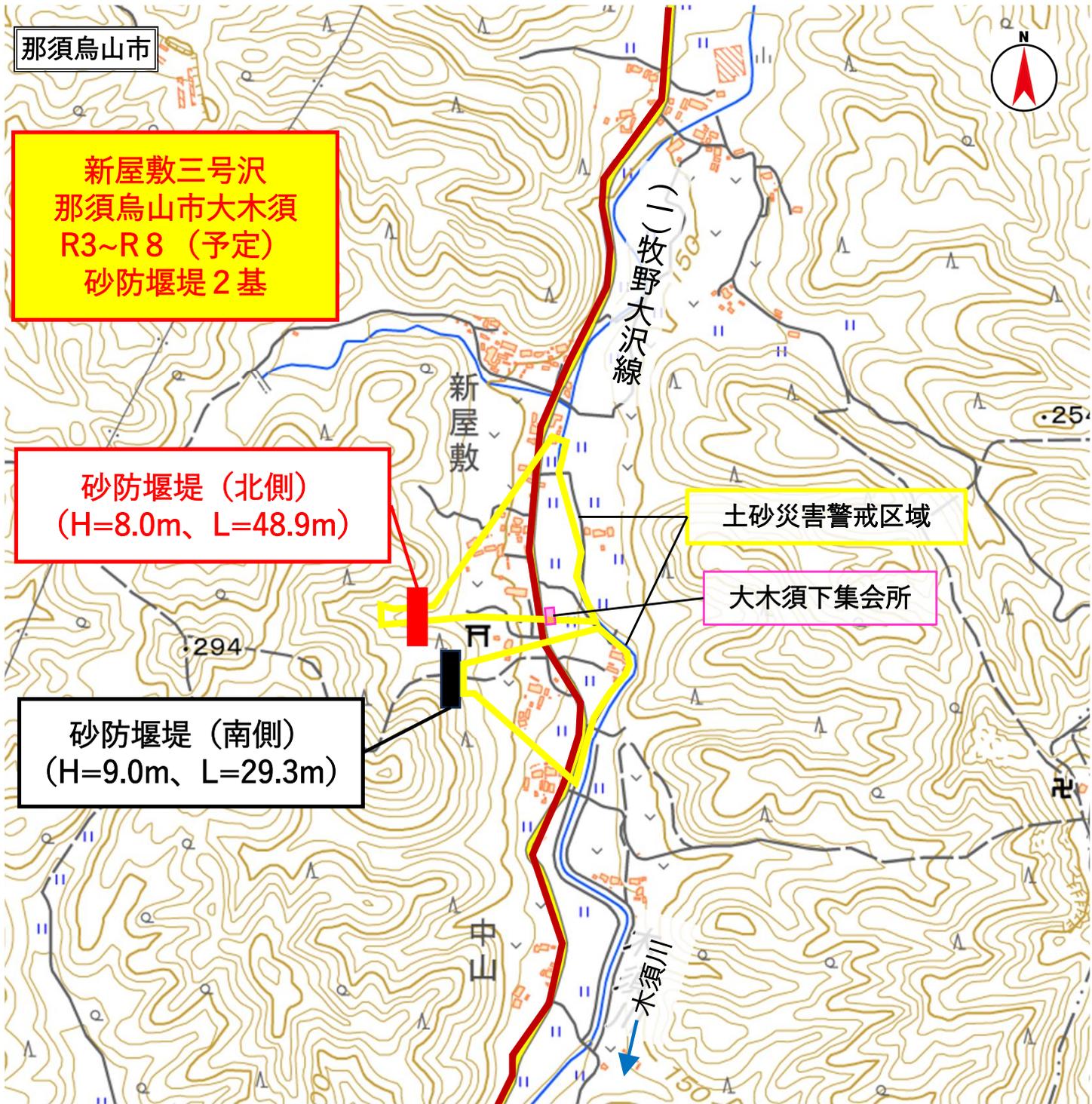
砂防堰堤 (北側)
(H=8.0m、L=48.9m)

砂防堰堤 (南側)
(H=9.0m、L=29.3m)

土砂災害警戒区域

大木須下集会所

凡例	
事業箇所	
事業済箇所	



II 事業の評価

【今後の事業進捗の見込み】

- ・ 事業期間の見直し
令和7年度 ⇒ 令和8年度
- ・ 総事業費の見直し
3.0億円 ⇒ 3.9億円

【全体事業費の見直し】

		前回計画 (R3年度)	今回計画
	事業費	3.0億円	⇒ 3.9億円 (+ 0.9億円)
内	工事費	2.8億円	⇒ 3.7億円 (+ 0.9億円)
訳	用地補償費	0.2億円	⇒ 0.2億円 (± 0.0億円)

【事業の投資効果】

1 費用対効果分析結果

	B/C	総便益(B)	総費用(C)
(1)事業全体	2.8	11.9億円	4.3億円
(2)残事業	5.2	7.9億円	1.5億円

2 事業の整備効果等

- ・ 新屋敷三号沢の溪流内には不安定な土砂が堆積し、豪雨等により下流に流出するおそれがあることから、砂防堰堤を整備することで流出土砂の抑止を図り、人家7戸、県道牧野大沢線、大木須下集会所への被害を防止する。

II 事業の評価

【事業の進捗状況等】

※令和7年度末時点

1 事業の進捗状況

- 全体事業進捗率 64%
- 用地 100%
- 工事 62%

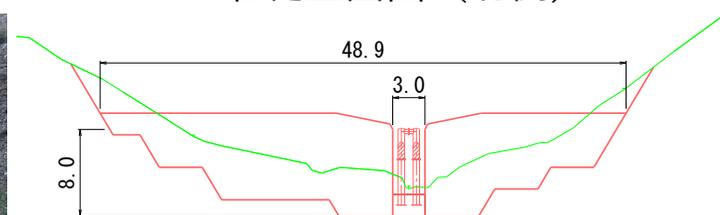
2 今後の事業進捗の見込み

- 工事を推進し、令和8年度を目標に事業完了を図る。

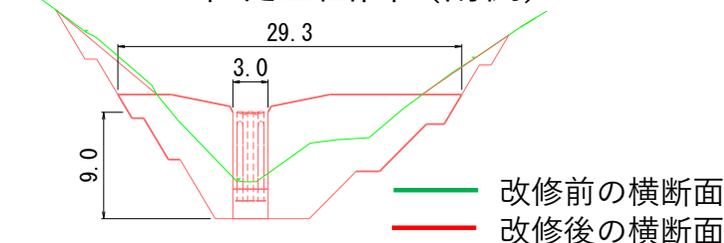
新屋敷三号沢（砂防堰堤整備）



堰堤正面図（北側）



堰堤正面図（南側）



【コスト縮減等】

1 コスト縮減方策

- 掘削土砂を地盤改良工の材料として活用し、コストの縮減を図る。
- 他事業と調整し、建設発生土を工事間流用することでコストの縮減を図る。

2 代替案立案等の可能性

- 砂防事業に必要な事業用地は100%取得済みである。また、本事業箇所での2つの渓流から流出する土砂及び流木を効果的に捕捉し、保全対象を保全するためには、砂防堰堤工2基による本計画が最適である。

【事業の対応方針（案）】

- 本計画で事業を継続する。